

(案)

江東区生物多様性地域戦略

～水と緑、過去と未来、生きものと人がつながる
持続的な自然共生社会を目指して！～

【概要版】



小学校ポケットエコスペース

ポケットエコスペース

区立公園や小学校等にある小規模な「ビオトープ」です。様々な生きものの生息・生育場所となっています。



チョウトンボ



オタマジャクシ
(ヒキガエル)

親水公園

水に親しみながら遊べるよう、水路を設けた公園です。もともとの川を埋め立てて整備しており、自然の川の水を導水しているため、魚類をはじめとする水生生物が多く見られます。



カワセミ



スジエビ



横十間川親水公園



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

皆さんは、江東区にどんな生きものや自然があるかご存じですか？
身近な場所でも、たくさんの生きものが暮らしています。
私たち一人ひとりが、自然や生きものを守る力になります。
一緒に、自然とともに生きる豊かなまちをつくりましょう！

1 本戦略策定の目的

江東区では、生物多様性を守り次世代につないでいくこと、またその恩恵による区民一人ひとりのウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の更なる向上を図ることに加え、区が直面する生物多様性に関する様々な課題へ適切に対応し、持続可能で魅力ある街づくりを推進するため、「江東区生物多様性地域戦略」を生物多様性基本法に基づき策定します。

2 生物多様性とは

【様々な生きものが存在し、全ての生きものがつながっていること】

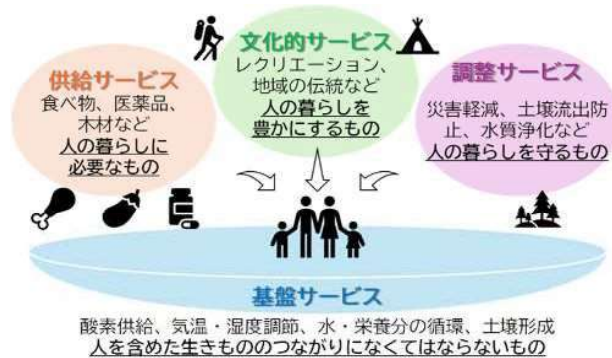
「生物多様性」とは、様々な種類の生きものが、それぞれの個性や役割を持ちながら、互いに関わり合い、存在していることを指します。また、生きものが生きていくためには、それぞれに適した環境が必要であり、多様な生きものとともに、多様な環境が存在することも重要です。生物多様性は、主に「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの視点から考えられています。

3つの視点



4つの恵み（生態系サービス）

私たちの暮らしは、生物多様性によってもたらされる4つの「生態系サービス（生物多様性の恵み）」によって支えられています。生物多様性が失われると、これらの恩恵を受けられなくなり、今まで当たり前だった生活が難しくなるおそれがあります。



4つの危機

1 自然環境の破壊



3 外来種の持ち込みやごみ等の流出



2 自然環境の利用低下



4 地球環境の変化



生物多様性は様々な人間活動によって急速に失われてきており、現在、4つの大きな危機に直面しています。これらの影響により、生きものが絶滅する速さは自然の約1,000倍とも言われており、日本では野生の動植物のおよそ3割が絶滅の危機にあります。

1 江東区の地理的特徴と生態系

江東区は、東京湾に面し、荒川、隅田川に囲まれた低地です。明治期以降の埋立により、工業化・宅地が進みました。

区内では2,500種以上の多様な生きものが水辺や緑地にて確認されており、周辺の陸地や河川、海を通じて往来しています。一方、人の活動等で外来種も確認されています。



外来種の脅威

江東区では、コンテナ輸送中の紛れ込み等、様々な経路から外来種が侵入しています。外来種の中には、在来種や私たちの生活に影響を及ぼすものもあります。例えば、区内で確認されている特定外来生物のセアカゴケグモに咬まれると、激しい痛みや呼吸困難を引き起こすことがあります。



江東区における4つの恵み（生態系サービス）



江東区における4つの危機

- 【第1の危機】水辺や緑地等の生息・生育地の不足 等
- 【第2の危機】保全活動の担い手や自然体験の不足 等
- 【第3の危機】外来生物の管理の不足 等
- 【第4の危機】意識啓発不足 等

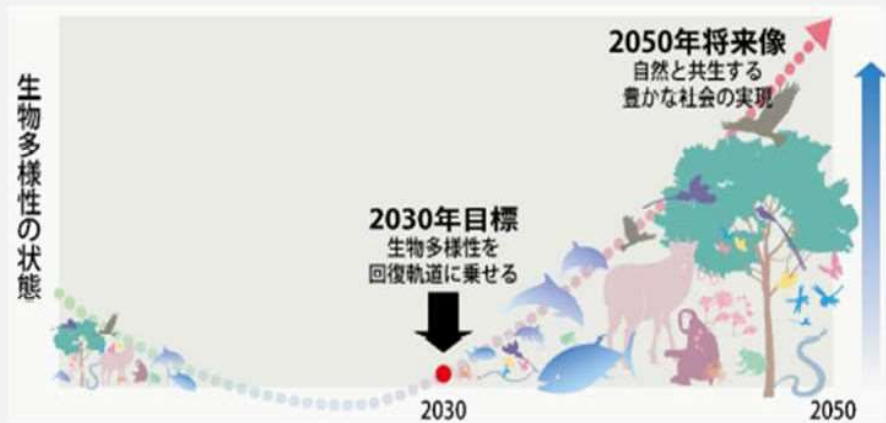
【生態系ディスサービス】
生きものによる暮らしへの負の影響
例) ウミネコやサギ類の騒音やフン害、カラスのごみ漁り 等

【間接的な影響】
都市に住む人々の消費活動が、遠く離れた地域の自然や生きものに影響を与えること。
例) エビの養殖場を確保するためにマングローブ林を破壊 等

1 昆明・モンリオール生物多様性枠組

令和4（2022）年に「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択され、2030年までに自然を回復の軌道に乗せるための緊急行動が求められています。この考え方は「ネイチャーポジティブ」と呼ばれ、今後の政策の重要なキーワードとなっています。

また、この枠組の中で、2050年に自然と共生する社会が実現しているという「自然共生社会」の将来像が掲げられています。



【出典】東京都「東京都生物多様性地域戦略」（令和5（2023）年4月）

※「A Nature-Positive World: the Global Goal for Nature, Naturepositive (Locke et al., 2021)」作成の図を基に東京都が加工した図を引用

2 本戦略の計画期間

令和8（2026）年度～令和17（2035）年度

- ▶ 令和32（2050）年に自然共生社会の実現を目指しています。
- ▶ 令和12（2030）年にネイチャーポジティブの実現を目指しています。

【2030年目標】

ネイチャーポジティブ（生物多様性を回復軌道に乗せる）の実現に向け、江東区は3つの基本目標を掲げ、行動します。

基本目標Ⅰ 守り、育てる

基本目標Ⅱ 活かし、つなぐ

基本目標Ⅲ 知って、変わる

【現在】

江東区の生物多様性は
危機に直面しています。

【2050年将来像】

水と緑、過去と未来、生きものと人がつながる 持続的な自然共生社会

自然共生社会

豊かな自然や生物多様性の維持・回復と持続可能な利用が実現するとともに、それらがもたらす恵みを将来にわたって継承していく社会です。



ポケットエコスペース
を活用した教育

在来種の保全

外来種の防除

生息・生育地の保全

情報発信

藻場や干潟の創出

区民農園での自然体験

歴史文化と自然体験

生きものと人がつながる生物多様性5大エリア

江東区を代表する特徴的な環境や活動している団体の有無、今ある取組の将来的な発展の可能性を踏まえて、特に重要なエリアを5か所選定しました。

- 横十間川親水公園/仙台堀川公園エリア
- 猿江恩賜公園エリア
- 荒川・砂町水辺公園河口エリア
- 若洲海浜公園・若洲公園エリア
- 富岡神社仏閣/企業緑地エリア

1 2030年目標と評価指標

	評価指標	現状値	目標値
基本目標Ⅰ 守り、育てる 生物多様性のつながりや魅力を 守り 、生きものと人が共生しながら、江東区のかげがえのない水と緑のまちを 育てる	自然共生サイト認定数（件）	2件	4件
	現地調査にて確認した在来種・特定外来生物の確認種数	本編 表4-2	在来種：増加 特定外来生物：減少
	緑被率（％）	21.01％	22.0％※1
	区民・事業者による新たな緑化面積（㎡）	91,048㎡	毎年度実績管理
基本目標Ⅱ 活かし、つなぐ 生物多様性の恵みや自然の働きを大切に 活かし 、江東区の歴史と文化を未来に つなぐ	公共建築物等における木材利用推進の運用（累計）	26施設	29施設※2
	食育に関心がある人の割合（％）	67.8	90％
	雨水流出抑制対策量（m ³ ）	8,248m ³	毎年度実績管理
基本目標Ⅲ 知って、変わる 生物多様性の価値や大切さを 知って 、子どもから大人まで協力しながら、地球環境に配慮する行動に 変わる	生物多様性の内容を知っている区民の割合（％）	39.8％	70％※2
	エコリーダー養成講座修了者数	448人	610人
	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合（％）	66.8％	77％
	事業系廃棄物の再利用率（％）	72.4％	74.5％

※1「江東区みどりの基本計画（後期）（令和7年度から令和11年度）」に基づき、令和11（2029）年度を目標としています。令和12（2030）年度以降は、新しい計画に基づき取り組みます。

※2「江東区長期計画（後期）（令和7年度から令和11年度）」に基づき、令和11（2029）年度を目標としています。令和12（2030）年度以降は、新しい計画に基づき取り組みます。

生物多様性への取組

江東区には、区立公園や小学校等のビオトープ（ポケットエコスペース）以外にも、都立猿江恩賜公園内の生物多様性に配慮した池や緑地、清水建設（株）の「再生の杜」や（株）フジクラの「木場千年の森」のような事業者のビオトープ、武蔵野大学キャンパス内のビオトープ等、様々な主体のビオトープ等があります。

このような生きものの生息・生育する場所が増えると、生きものの移動や分散が自由に行われるようになり、生物多様性の保全がより進められます。

これらのビオトープ等は、各主体の努力により、地域と連携した自然環境の保全が図られており、様々な主体の連携・協働が重要となっています。



2 施策の方向性と行動計画

	施策の方向性（目指すべき方向性）	行動計画（具体的な取組事業）	
I 守り、育てる	I-1 江東区における生物多様性の保全及び拡大	ポケットエコスペースの維持管理 等	 ポケットエコスペースの維持管理
	I-2 江東区とその周辺におけるエコロジカルネットワークの維持・強化	緑地の維持管理・整備 等	 特定外来生物 ナガエツルノゲイトウ
	I-3 生態系や人の生活を脅かす外来種対策の推進	外来種の情報把握・発信・防除対策 等	 環境調査の様子
	I-4 生きものとの共生社会の実現	飼育困難な動物の相談支援 等	
	I-5 多様な主体と連携した自然環境等に関する情報の集積と発信	区民や民間団体等の協力による生物調査 等	
II 活かす、つなぐ	II-1 生物多様性に配慮した自然の恵みの持続的利用の推進（供給サービス）	公共施設における木材の利用促進、食育の推進 等	 多摩産材のベンチ
	II-2 防災・減災や景観形成等に寄与するNbSの推進（調整サービス）	緑化指導、雨水流出抑制対策指導 等	
	II-3 地域の自然資源を活かした体験活動への参画推進と歴史・文化の保全・継承（文化的サービス）	自然観察会の開催、森林再生ツアーへの参加 等	 自然観察会
III 知って、変わる	III-1 生物多様性の理解促進	イベントやSNS等による生物多様性の情報発信 等	 生物多様性フェア
	III-2 あらゆる主体の連携・協働による取組の推進	生物多様性に関する会議体の実施 等	
	III-3 生物多様性の保全に貢献する環境教育・人材育成の促進	ポケットエコスペースを活用した学校教育 等	 エコリーダー養成講座
	III-4 日常生活や事業活動を通じた地球環境への配慮と気候変動対策の推進	5Rの推進についての普及・啓発 等	

【出典】江東区「ポケットエコスペースパンフレット」、江東区ウェブサイト「多摩産材の積極的な利用について」、NPO法人ネイチャーリーダー江東ウェブサイト「【9/13開催】秋の虫さがし」、江東区ウェブサイト「エコリーダー養成講座2024初級編」「持続可能ジモトアクション」

戦略の推進

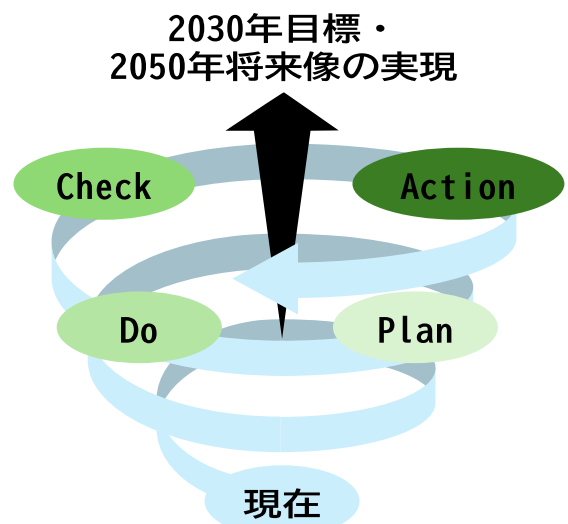
QR

▲詳しくはこちら

1 進行管理

江東区、区民、民間団体、教育・研究機関、事業者等の各主体が連携・協働しながら、取組を推進します。

P D C Aサイクルによる適切かつ持続的な進行管理を行うことにより、2050年将来像の実現及び2030年目標の達成に向けて、生物多様性の保全や取組の状況が現状よりも螺旋状に向上（スパイラルアップ）していくことを目指します。



おわりに 生物多様性を守るために私たちができること

- 緑地や水辺、ポケットエコスペースなど、地域の自然を保全するボランティア活動に参加して、多様な生きものが暮らせる水辺や緑地をつくる。
- 公園・水辺・緑地ではそこで暮らしている生きものをむやみに採ったり、踏みつけたり、ゴミを捨てないようにする。
- 外来種を増やさない、ペットは責任をもって飼育し、遺棄なども行わない。
- 江東区や団体が開催する自然観察会や生きもの調査に参加する。
- 江戸東京野菜など伝統的な食文化や花見文化を学ぶ。
- 生物多様性について体験したこと・学んだことは、家族や友だちに教えたり、呼びかけて広めていく。

知 もっと知って、変わりたい！



環境フェア

【出典】江東区ウェブサイト「第18回江東区環境フェア」



生物多様性フェア



自然観察会

【出典】NPO法人ネイチャーリーダー江東ウェブサイト
「[9/13開催] 秋の虫さがし」



生きもの展

【出典】公益財団法人江東区文化
コミュニティ財団ウェブサイト
「東大島文化センター イベント情報」

活 もっと活かし、つなぎたい！



コミュニティガーデン活動

【出典】江東区ウェブサイト
「コミュニティガーデン～みんなで楽しむ「地域のお庭」」



田んぼの学校

【出典】江東区ウェブサイト「田んぼの学校」



エコリーダー養成講座

【出典】江東区ウェブサイト
「エコリーダー養成講座2024初級編
「持続可能ジモトアクション」」



緑地保全ボランティア

【出典】江東区「ポケットエコスペースパンフレット」

印刷番号や書籍名

表紙

みんなは江東区の生きものや自然のことを、
どれくらい知っているかな？

江東区には、**2,500**種以上の様々な生きものが、
身近な場所にすんでいるんだ。一緒に見てみよう!!



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

ポケットエコスペースって何？

教えて！
コトミちゃん①

ポケットエコスペースは、江東区にある身近な自然を再生するために
つくられた生きもののすみかのことだよ。
区内には、みんなが通う小学校や公園、幼稚園、えこつくる江東に
合計**52**か所あるんだ!! どんな生きものがいるのかな？



QR

詳しくはこちら



香取小学校
ポケットエコスペース



新砂のぞみ公園
ポケットエコスペース



潮見さざなみ公園
ポケットエコスペース

どんな生きものがいるの？

教えて！
コトミちゃん②

ポケットエコスペースの中には小さな水辺もあって、様々な植物や動物たちがすんでいるよ。

生きものを大切に思う人たちが定期的に管理をしてきているおかげで、**このような生きもののすみかが守られている**んだ。



荒川・砂町水辺公園ポケットエコスペース



タコノアシ

- 水辺に生育しており、夏に白色の花を咲かせます。
- 秋には種の入っている部分が紅葉するため、タコの足のように見えます。

仙台堀川公園ポケットエコスペース



ギンヤンマ

- 水辺に生息しており、緑色と水色の体色が目立ちます。
- 川沿いや池等の水面を素早く飛ぶ姿が初夏から秋まで見られます。

ポケットエコスペースの維持管理の様子



- ボランティア団体や小学校等により維持管理が行われています。
- 希少種の保全や、外来生物の抜き取り等を行っています。

もっと江東区の自然が知りたい！

教えて！
コトミちゃん③

実は、ポケットエコスペースだけではなくて、江東区には他にも様々な自然があるんだ。例えば、「**水に親しめる公園**」、「**自然に親しめる公園**」、「**海の生きものと出会える公園**」、「**企業の水辺・緑地**」があるよ。

みんなが遊びに行く公園には、様々な生きものもすんでいるんだね。



水に親しめる公園

- 江東区には、水辺で生きものを見たり、遊んだりできる公園があります。
- 水路には、自然の川の水が流れており、ハゼ類等の魚類、カワセミやサギ類・カモ類等の水鳥が見られます。

- ・ 仙台堀川公園
- ・ 横十間川親水公園
- ・ 旧中川水辺公園 等

仙台堀川公園



QR

△詳しくはこちら

マガモ



マハゼ



自然に親しめる公園

- 江東区には、まとまった樹林や草地、池のある広大な自然を感じられる公園があります。
- 猿江恩賜公園では、大きな池が2つあり、カエル類等の様々な水生生物がすんでいます。

- ・ 猿江恩賜公園
- ・ 木場公園
- ・ 亀戸中央公園 等

猿江恩賜公園



QR

△詳しくはこちら

アズマ
ヒキガエル



ニホンカナヘビ



公園や川、海など様々な自然があって、**それぞれに合った生きものがお互いにつながりながら、すんでいる**んだ。

このことを **【生物多様性】** と言うんだよ!!



海の生きものと出会える公園

若洲海浜公園

QR

▲詳しくはこちら

- 江東区には、広大な東京湾に面した海の生きものに出会える公園があります。
- 公園に整備された釣り場ではスズキやカサゴ等の魚類が釣れるほか、人工磯ではカニ類やヤドカリ類が見られます。

- ・ 若洲公園・若洲海浜公園
- ・ 水の広場公園
- ・ 海の森公園 等



キョウジョシギ



カクベンケイガニ



企業の水辺・緑地

木場千年の森

QR

▲詳しくはこちら

- 江東区には、民間企業の努力によってつくり、守られてきている水辺・緑地があります。
- 株式会社フジクラは木場に「ビオガーデン フジクラ 木場千年の森」をつくり、一般公開しています。

- ・ 木場千年の森 ((株)フジクラ)
- ・ 再生の杜 (清水建設(株))
- ・ NOVARE (清水建設(株))



カワセミ



テナガエビ



【出典】株式会社フジクラ ウェブサイト「フジクラ 木場千年の森」から写真引用
(<https://www.fujikura.co.jp/company/social-contribution/millennium-forest/>)

生物多様性の恵みって何？

教えて！
コトミちゃん④

生物多様性は、みんなが生きていくために必要な酸素や水をさずけてくれるだけでなく、「**食べものや資源**」、「**文化や歴史**」、「**安心・安全な暮らし**」をさずけてくれているよ。
どれもみんなの暮らしに欠かせない、身近なものばかりだね。



食べものや資源を もたらす恵み



深川めし

【出典】一般社団法人江東区観光協会ウェブサイト
「江東おでかけ情報局「深川めし」」



江戸東京野菜

【出典】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
ウェブサイト「江東区中川船番所資料館
「特別展「江東の農業」関連講座」」

文化や歴史を 育む恵み



花文化

【出典】一般社団法人江東区観光協会
ウェブサイト
「江東おでかけ情報局」



釣り場

【出典】東京港埠頭株式会社
ウェブサイト「海上公園なび」



区民農園

【出典】夢の島区民農園
ウェブサイト

安心・安全を 支える恵み



避難場所としての
公園

【出典】アメニス東部地区グループウェブサイト
「TOKYO EAST PARK「大島小松川公園」」



壁面緑化による
室温低下

【出典】江東区「江東区みどりの基本計画（後期）」
（令和7（2025）年3月）

もしも、生物多様性がなくなったらどうなるだろう？
きっと生物多様性からのたくさんの恵みももらえなくなるから、
そうすると今まで当たり前だと思っていた暮らしができなくなるよね。

だからこそ、**生物多様性の恵みに感謝して、
自然や生きものを守っていくことが大切**なんだ。



江戸期の生きものと食文化・花文化

江東区では、江戸期から現在にかけて、土地の使われ方が大きく変わってきました。**江東区は元々、ほとんどが干潟や湿地**であり、その後、**各地で田んぼや畑等の開発**が始まりました。それらの自然環境には、今では見られない生きものもすんでいました。

深川めし・潮干狩り

- 深川地区では、ウナギ、テナガエビ、カキ等の貝類、スッポン等が名産として知られるほどに、**水辺の生きものが豊富に生息していました。**
- これらの旬で新鮮な魚介類は、「**深川めし**」を**はじめとする「江戸前」の食の文化**となりました。
- また、春先の潮干狩りは江戸期において大人気のレジャーでした。主には、深川洲崎等でアサリやハマグリ等が採れたとされています。



江戸期の潮干狩り

【出典】 国立国会図書館ウェブサイト
「錦絵でたのしむ江戸の名所」

江戸東京野菜

- 江東区では、**江戸期から始まる東京の野菜文化**である「**江戸東京野菜**」が育てられ、江戸市民の食を支えてきました。
- 江東区には、「**亀戸ダイコン**」や「**砂村三寸ニンジン**」「**砂村一本ネギ**」があります。



江戸東京野菜

【出典】 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
ウェブサイト「江東区中川船番所資料館
「特別展「江東の農業」関連講座」

花の名所

- **江東区の花は「江戸園芸」として親しまれ、江戸期から現代まで受け継がれています。**
- 江東区には、「**龍眼寺のハギ**」や「**亀戸天神社のフジ・ウメ**」、「**牡丹園のボタン**」等、区内の神社や寺、公園、庭園、緑道等に季節の花や紅葉を楽しむ場所が点在しています。
- 歴史と自然を感じることができる名所として、多くの人々に親しまれています。



亀戸天神社のフジ

【出典】 亀戸天神社ウェブサイト
「藤まつり」

失われつつある生物多様性

教えて！
コトミちゃん⑤

みんなの暮らしに欠かせない生物多様性は、**様々な理由によって失われつつある**んだ。これを**生物多様性の4つの危機**と言うよ。

このことは、**江東区だけではなくて、東京都、日本、世界中でも、大きな問題になっているよ**・・・。



1

第1の危機

人によって自然環境が壊されてしまうこと

- 江戸期の江東区は、ほとんどが干潟や湿地であり、それらの自然には様々な生きものがすんでいました。そこでは潮干狩りなども行われていました。
- しかし、明治期以降の埋立により工業化・宅地化が進み、今では、江東区に広大な干潟や湿地は残されていません。



江戸期の潮干狩り

【出典】 国立国会図書館ウェブサイト
「錦絵でたのしむ江戸の名所」

2

第2の危機

人が自然環境を利用しなくなり、バランスが崩れてしまうこと

- 江東区の身近な自然であるポケットエコスペースには、様々な生きものがすんでいます。
- しかし、ポケットエコスペースを守る担い手の高齢化により、維持管理の人手不足が問題となっています。
- このため、環境が荒れてきてしまったことで、これまですんでいた生きものがいなくなってきています。



増えすぎた植物が水面をおおっているポケットエコスペース



トンボ類が池にやって来れなくなってしまう。

3

第3の危機

人が持ち込んだ生きものやごみが、元からすんでいた生きものに、影響を与えてしまうこと

- 江東区では、「特定外来生物」と呼ばれる、自然のバランスを大きくくずしてしまうような生きものが17種確認されており、江東区の生物多様性がおびやかされています。
- 荒川等の河川や東京湾では、プラスチック等のごみが私たちの暮らしや生きものに悪影響を及ぼしています。



条件付
特定外来生物
アメリカザリガニ

荒川河口の
新砂干潟で
回収されたごみ



外来生物って何だろう？

- 外来生物とは、元々その地域にいなかった生きもののことです。
- アメリカザリガニやミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）も国外からやってきた生きもので、元々いる生きものを食べたり、すみかを奪ったりしています。



①水草や水生昆虫が豊か
だった以前の淡水池



②アメリカザリガニが
投げ込まれた池。
水草はなくなっている。



③ボランティア（NPO法人）
によるアメリカザリガニ
捕獲の様子



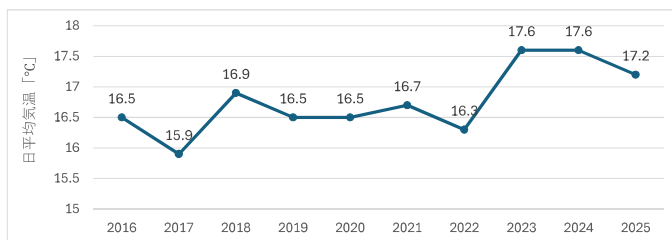
④捕獲されたアメリカザリガニ
【出典】NPO法人ネイチャーリーダー江東
提供資料

4

第4の危機

地球環境の変化によって生きものが、すんでいる場所が変化してしまうこと

- 近年、世界的に地球温暖化が深刻化しており、江東区においても気温が上昇傾向にあります。
- 地球温暖化（気候変動）は、生きものの絶滅の要因の一つともなっており、陸上の生きものだけでなく、水温が上昇している河川や海域の生きものにも影響が心配されています。



江東区の日平均気温の推移

【出典】気象庁江戸川臨海観測所の気温データ

自然共生社会を目指して 2050年将来像

江東区が直面する様々な危機の解決を目指し、江東区にあるかけがえない自然や生きものの多様性を未来まで守っていくため、

江東区は【2050年の自然共生社会】を目指して、様々な人たちと協力しながら、生物多様性を守る取組を進めていくんだ。



干潟や藻場が広がってる海岸

イラストに新設の干潟を追記予定



潮干狩りでアサリを
とりたい!!

干潟にいるカニや水鳥
を見に行きたい!!

みんなで海水浴に
行きたい!!

みんなで守る身近な自然

身近な花や虫を
みんなで守りたい!!

学校でも江東区の
自然を学びたい!!

江東区の生きもの博士
になりたい!!



水と緑、過去と未来、生きものと人がつながる 持続的な自然共生社会を目指して！

川の生きものと触れ合える公園



川に入って、メダカや
ドジョウを捕まえたい!!



イシガメを見つけられ
たらうれしい!!



夜に光るホタルを
みんなで見に行きたい!!



伝統的な野菜や米を育てられる農園

江戸の人も食べていた
野菜をつくってみたい!!



野菜や米づくりの
プロになりたい!!



生きものにも優しい
農園があったらいいな!!



思いえがく明るい未来に向けて、
今、私たちにできることは何だろう



私たちにできる生物多様性を守る取組



未来の生きものや自然を守るためには、みんなの協力が必要なんだ。
まずは、生きものや自然にふれてみて、出来ることから始めてみよう!!

- 身近な生きものを観察したり、図書館や学校、「環境学習情報館えこっくる江東」で調べて、生物多様性について学ぶ。
- 自宅に生きものがすすめるビオトープを作ってみる。
- 公園等にすんでいる生きものをむやみに採ったり、踏みつけたりしない。
- ポイ捨てをせず、ごみ拾いをする。食べ残しせず、紙や袋を無駄にしない。
- ペットは責任をもって最期まで飼育し、公園や川、池に逃がさない。
- **体験したこと・学んだことを家族や友だちに教えたり、一緒にやってみる。**

知 もっと知って、変わりたい!



環境フェア
【出典】江東区ウェブサイト「第18回江東区環境フェア」



生物多様性フェア



自然観察会
【出典】NPO法人ネイチャーリーダー江東ウェブサイト「【9/13開催】秋の虫さがし」



生きもの展
【出典】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団ウェブサイト「東大島文化センター イベント情報」

活 もっと活かし、つなぎたい!

守 もっと守り、育てたい!



コミュニティガーデン活動
【出典】江東区ウェブサイト「コミュニティガーデン～みんなで楽しむ『地域のお庭』」



たんぼの学校
【出典】江東区ウェブサイト「たんぼの学校」



エコリーダー養成講座
【出典】江東区ウェブサイト「エコリーダー養成講座2024初級編『持続可能ジモトアクション』」



緑地保全ボランティア
【出典】江東区「ポケットエコスペースパンフレット」

印刷番号や書籍名

意見等回答様式

令和7年度第4回江東区生物多様性地域戦略策定委員会における各議題について、ご意見等を記載していただき、メールでご回答をお願いいたします。
裏面に自由記載欄がありますので、ご意見等の補足などありましたらご利用ください。
なお、ご意見等ない場合は、ご回答不要です。
【提出先】メール：cigmidori@city.koto.lg.jp 担当：土木部管理課C I G推進係
【提出期限】2月2日（月）まで

◆議題（1）素案への委員ご意見の対応について

・ご意見等

◆議題（2）パブリックコメントの実施状況について

・ご意見等

◆議題（3）江東区生物多様性地域戦略（案）について

・ご意見等

令和 年 月 日

氏名

◆議題（４）江東区生物多様性地域戦略 概要版（案）について

・ご意見等

◆議題（５）その他

・ご意見等

◆自由記載欄（補足などありましたらご利用ください）

・ご意見等

【事務局】

担当：土木部管理課C I G推進係
浦、中村

mail：cigmidori@city.koto.lg.jp

内線：6476